

百歳おめでとう
竹内チヨ子さん

百歳を迎えた竹内チヨ子さん（西山）への賀寿贈呈は4月2日、ツクイ相馬馬場の施設内で行われ、竹内さんに記念品などが手渡されました。贈呈されたのは、県より賀寿状と記念品、市より賀寿状、記念品および祝い金、県遺族会より賀寿状と記念品。当日は、同席した家族らが竹内さんの長寿を祝いました。竹内さんに聞いた長寿の秘訣は、好き嫌いをせず何でも食べることです。

寄付ありがとう

株式会社サンノハシ

3月21日、株式会社サンノハシの村上陽一技術本部取締役部長が市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。同寄付は、企業版ふるさと納税として市に寄付するもの。寄付金は、リーディングスキルテスト（RST）を活用した学力向上に当てられます。寄付金を受け取った立谷市長は「ありがとうございます。市の教育のために大切に使用させていただきます」と述べました。

復興を願う
能登半島地震の
被災地へ

市区長会の渡邊孝喜会長ら4人は3月27日、市役所を訪れ、令和6年能登半島地震への支援金を立谷市長に手渡しました。

同支援金は、地震で被害を受けた地域を支援する目的で、行政区長75人から寄付を募り集まったもの。

支援金を受け取った立谷市長は「責任を持って被災地域へお届けします」と述べました。

同支援金は、石川県能登町に送られました。

地域のことは地域で守る

自主防災組織認定証交付式

自主防災組織結成団体への認定証交付式は3月14日、市役所で行われ、明神前自主防災会会長の但野一男さんが認定証の交付を受けました。

自主防災組織は、主に行政区単位で、防災意識の啓発や訓練、災害発生時の要支援者のサポートなどを実施。

式では、立谷市長から認定証が手渡されました。

明神前団地居住者で構成された同会は、市内の自主防災組織として75番目の設立です。

霜から農作物を守る
防霜対策本部

市は4月1日、立谷市長を

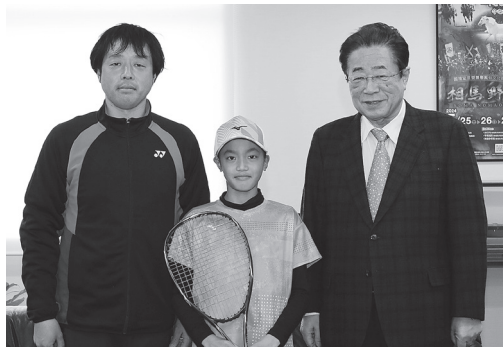
本部長とする市防霜対策本部を設置し、立谷市長と伊東充幸産業部長が市役所玄関に看板を掲げました。

同対策本部は、降霜による農作物の被害を最小限に食い止めるため、霜注意報が発令された際の情報伝達および、被害発生時の状況把握などに取り組みます。

この時期、市内ではナシなどの果樹で特に注意が必要で、本部は5月末まで開設しています。



全国大会での活躍を願う スポーツ大会出場報告



スポーツ大会出場報告は3月22日、市役所で行われ、全国大会に出場する松本倫佳選手（八幡小4年）が訪れました。松本選手は、令和5年11月5日に開催の第23回全国小学生ソフトテニス大会福島県二次選考会で優勝し、3月29日から千葉県白子町で開催の全国大会に出場しました。報告を受けた立谷市長は松本選手を激励し、奨励金を手渡しました。

子どもたちの晴れ舞台

エル・システマ子ども音楽祭

第9回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬は、3月23日、24日、市民会館で開かれ、子どもたちが日ごろの練習の成果を披露しました。

3月23日は、中村一中、中村二中、向陽中の吹奏楽部が演奏したほか、相馬子どもコーラスが振り付けを交えて合唱しました。

3月24日は、相馬子どもオーケストラが演奏しました。訪れた市民らは、子どもたちの演奏に大きな拍手を送り、



馬陵公園をほのかに照らす ぼんぼり点灯式



「相馬桜まつり」のぼんぼり点灯式は3月27日、馬陵公園で行われ、関係者約20人が出席しました。

主催者の草野清貴相馬商工会議所会頭が「もうすぐ桜が開花しますので、皆さまに楽しんでいただきたい」とあいさつし、立谷市長が祝辞を述べました。

草野会頭ら9人が出席者を代表しぼんぼりの点灯スイッチを押すと、設置されたぼんぼり178本が一斉に点灯し、辺りをやさしく照らしました。

交通事故をなくす 春の全国交通安全運動出動式

交通事故防止を図る春の全国交通安全運動出動式は4月5日、スポーツアリーナさうま第二体育館で行われ、交通安全関係団体が参加しました。式では、市交通対策協議会会長の立谷市長のあいさつに続いて、佐藤重義相馬地区交通指導隊長が出動申告を行いました。

同式典後は、白バイやパトカーによるパレードとヨークベニマル相馬店での交通安全啓発活動が実施されました。



黄色い帽子で交通安全 新入学児童に黄色い帽子などを贈呈

市、相馬地区交通安全協会、日本コープ共済生活協同組合連合会は4月8日、新入学児童に帽子などを贈りました。

贈呈式では、邊見辰雄相馬警察署長がランドセルカバ、荒貞昭相馬地区交通安全協会会長が腕章、阿部勝弘副市長が黄色い帽子を新入学児童代表の飯塚小学校の西阜佑さんと飯塚柚羽さんに手渡しました。児童たちは、お礼を述べ、交通安全を誓いました。

